

平成27年度採択 医療スキルの修得支援のためのインタラクティブ・チュートリアル・システムの開発・事業化 株式会社京都科学（京都府） 主たる技術：センシング及び状況認識技術

- ・自己学習を多く、高品質に行う事が可能な、医学教育用シミュレータの開発。
- ・聴診、触診、注射手技に特化したシミュレータで上記シミュレータを開発する。
- ・自己学習の助けになる、インタラクティブチュートリアル機能の開発と運用。

研究開発の成果

■ 聴診、触診、注射シミュレータの開発

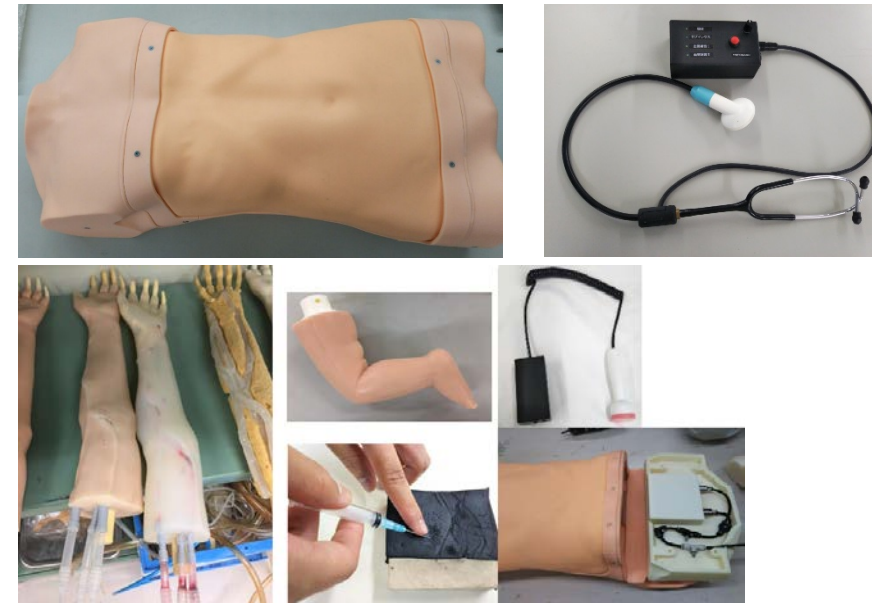
- ・聴診と触診が両立するシミュレータの試作に成功した。
- ・注射の針をセンシングする新たな素材の研究を行った。
- ・単体のシミュレータとして完成度の高い試作機が完成した。

■ 状況認識技術の研究

- ・ある限定した条件化では状況認識が出来るようになった。
- ・まだ実用化するには誤認識や処理速度が問題である。
- ・今後の改良が必要。

■ 助言生成技術の研究

- ・ある程度の助言生成可能となった。
- ・実習者のスキルに合わせて助言生成を行うには、今後データベース、アルゴリズム等の改良が必要。



【開発中の腹部触診と注射シミュレータ】

研究体制

事業管理機関：株式会社京都科学

学校法人早稲田大学

当該研究開発の連絡窓口

所属・氏名：研究開発課 影山

E-mail : m_kageyama@
kyotokagaku.co.jp

電話番号：075-605-2530